

中学生サミット通信

平成29年3月3日発行

文京区青少年委員会
会長 石田 幸雄

10校の中学生の熱気あふれる議論が飛び交い、東京オリンピックにつながる積極的な意見交換ができました。

平成28年12月3日(土)、第三中学校において「第45回中学生サミット連絡会」が開かれました。中学生サミット連絡会とは、区立中学校の生徒会役員が一堂に会し、各校の特色や独自の取組みに関する情報交換を行い、各生徒会の活動を活性化させることを目的に、現在は毎年2回、青少年委員会が実施している事業です。今回からランチサミットと称し、昼食の場も生徒の親睦を深める話し合いの場として活用しました。



昼の上での座談会は斬新で大好評!

今回は三中生徒の発案で「移動しやすく近い距離で話し合えるように」と体育館に畳を敷き、その上での議論となりました。これが大好評で、他校の生徒とも打ち解け合い、活発な意見交換ができました。また、自分では考えつかなかった意見に刺激を受けながら成長していく姿も見られました。話し合いの中で文京区を見つめ直すこともでき、充実度の高いサミットでした。



3グループに分かれて活発に意見交換中!

今回のテーマ

東京オリンピックに向けて

1. 外国人に誇れる文京区のいいところ
2. 上記1を踏まえて、外国人に文京区に来てもらうための工夫

テーマ1

治安がよく、学問やスポーツが盛んな文京区!

「多くの区と隣接している」「交通の便がいい」「治安がよい」「歴史的な名所・建造物が多い」「学問が栄えている」「学校の数が多い」「文人ゆかりの地」という意見が、複数の学校から挙がっていました。そのほかには、「ボランティア活動が盛ん」「様々な分野に特化した職人が多い」「スポーツの拠点」「東大やABK(アジア文化会館)などがあり、外国との交流が盛ん」「シビックセンターで音楽・芸術にふれあえる」「自然が多い」「公園や緑が多い」などの少数意見もありました。

テーマ2

B-ぐるや公式サイトを活用して宣伝しよう!

「公式サイトなど外国の方が見られるよう宣伝する」「文京区一周B-ぐるバスツアー」「PR動画をB-ぐるで流す」「パンフレットやポスターを作る」「You tubeで宣伝する」など媒体を使って文京区をPRするという意見が多数ありました。「英語の案内を増やす」「英語学習を強化してコミュニケーション能力をアップする」という少数意見のほか、「文京マラソンを開催する」「外国人に伝統文化を体験してもらう」「インターネット動画サイトを使って生徒会公式チャンネルを作る」という斬新な意見も飛び出しました。

